

事業名	まつばら阪南大学マルチスポーツチャレンジ ～持続可能な循環型スポーツクラブの実践～
事業概要	阪南大学の資源を生かしたマルチスポーツの実践を通して、松原市が抱える運動・スポーツに関する課題の解決に取り組む。地域の参加者の年齢と成熟度に応じたレベルでマルチスポーツを実践できる機会を提供する。 ①未就学児から高齢者を対象としたマルチスポーツフェスティバル開催（のびのびフェスティバル、マルシェ） 屋内外で楽しめるスポーツや遊びを提供する。また地元で採れた食材を提供したキッチンカーを出店し、食育にもつなげる。 ②未就学児、小学生、親子、高齢者イベントそれぞれのニーズに対応したイベント開催 鬼ごっこなどの運動遊び、親子でダンス体験、高齢者体操教室など、それぞれのニーズに合わせて運動の機会を提供する。 ③中学校部活動指導員派遣：市内の教育委員会と連携し、必要な学校へ、大学の強化クラブよりコーチや選手を派遣する。

■対象地域の課題

阪南大学の位置する松原市は、20～30代の転出者が多く、今後も**人口減少、少子・高齢化の進行が予測されている地域である**。この地域の人々の運動習慣は、特に働き盛り世代、子育て世代で不足している傾向にある。若年層においては体育の時間以外で運動機会のある人の割合が下がる傾向にある。さらに高齢者においては、高齢化の進行に対応した運動機会が提供おらず、高齢者の身体機能・生活機能の低下の予防に向けた支援が必要とされているのが現状である。

ハード面では、野外スポーツで多機能に働き土のグラウンドより安全性の高い人工芝のグラウンドは松原市内1面のみで、その他には阪南大学グラウンドを除いては存在しない。**人口減少による指導者やサポート人材の不足と施設の慢性的な不足による各世代の運動機会を創出できていないことは、この地域の喫緊の課題である。**

■活用する大学スポーツ資源

- ・施設：人工芝グラウンド、体育館、ホールなど
- ・運動、スポーツに関する研究者／アスリート（詳細は各HP参照）
- ↳ **早乙女 登**（教授）：循環型スポーツクラブの育成計画を作成し、その実践を積み上げてきた。本事業では地域と一体となってその活動を包括的に推進する。
- ↳ **江原 謙介**（准教授）：スポーツクラブ組織開発のプロフェッショナル。コンプライアンス研修やキャリアについての講義を担当する。
- ↳ **黒部 一 道**（教授）：運動生理学の観点から、子どもの発達や高齢者の活動を支援する。
- ↳ **上赤坂 佳孝**（准教授）：元プロアスリートの経験を伝えつつ、パフォーマンス分析の専門家として本事業に参画。
- ↳ **光安 知佳子**（専任講師）：身体表現やスポーツトレーニングの専門家として、親子イベントやダンスイベントで活躍する。
- ↳ **赤坂 修**（専任講師）：プロスポーツイベント運営の経験を生かして、本事業の現場運営を統括する。また現役Jリーグ審判員の視点でルールの大切さや規範意識を伝えていく。
- ↳ **渡辺 啓太**（本学職員）：2018年平昌オリンピック出場。2019/2020年全日本選手権2連覇達成。現役アスリートの経験を伝えながらスポーツの楽しさを地域の皆様に伝授する。

■期待される事業効果

本事業は、地域の喫緊の課題である「運動習慣」に着目して推進している。競技スポーツと生涯スポーツを融合させた運動・スポーツの習慣を育むための計画に沿った本事業は、中長期的な運動習慣の定着に効果がある事業となっている。

一過性の運動・スポーツ機会の提供にとどまらず、中長期的に運動習慣を定着させていくことが本事業の特色となっている。

本事業の評価方法は、松原市の策定する健康増進計画の内容とも一致しているため、定期的な評価を通して内容を更新し、地域の持つ最新の課題を突き止めながら持続的に事業を推進していくことができる。

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）

